

# 月刊 社会保険 4

2020 VOL.837

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会



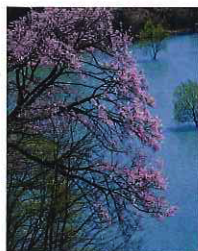
令和2年度診療報酬改定について  
年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律案の概要

令和2年度診療報酬改定について	4
年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律案の概要	10
<b>社会保険・労働保険の手続きと届出様式</b>	
第12回(最終回) 労働者災害保険の特別加入申請書(海外派遣者)	
監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
<b>年金・健康保険委員活動報告</b> 委員会活動における年金・健康保険委員としての役割	
株式会社西日本シティ銀行人事部厚生グループ主任調査役	
かめがわ あきら 亀川 聡	20
<b>書評</b> <small>おおき たけし</small> 大木 毅著『独ソ戦一絶滅戦争の惨禍』	
	22
<small>サステイナブル</small> <b>持続可能な社会の扉を開けた人たち</b>	
第11回(後編・最終回) 聞き手が語る/持続可能な社会へと飛び立ったサステナビリティ号は、どこへいく。	
株式会社朝日エル会長 <small>おかやま けいこ</small> 岡山 慶子	23
<b>日本とは異なるイタリアの高齢者事情</b> 第12回(最終回) イタリア在住の日本人高齢者が語る	
イタリア在住ジャーナリスト <small>あかねがくぼ てつろう</small> 茜ヶ久保 徹郎	26
<b>認知症を予防する②</b> 第12回(最終回) <small>とうがらし</small> お茶、唐辛子、キノコと健康長寿	
お茶の水健康長寿クリニック院長 <small>しらすわ たくじ</small> 白澤 卓二	28
<b>社会保険Q&amp;Aシリーズ</b> 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 <small>すずき</small> 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

## 表紙のことば——竹内敏信 「光の響」「水の風景」

いいでまち  
山形県飯豊町



1年間を通して「水のある風景」と題し、水を感じる作品を紹介してきた。

自然風景の原点ともいえる水。海、湖沼、池、滝、そして雨や雪もそうである。その水を得て、木々は成長をするのである。

4月になると桜の花が咲く。今はそれが当たり前のことと思っているだろう。しかし、これはまだ日本列島が穏やかであるということである。温暖化が心配される中、必ず小さなところから変化が現れてくる。それを今ならまだ止めることができる。いかに日本列島は美しいかと。

それを守るのは、われわれの義務なのではないだろうか。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

# 委員会活動における年金・健康保険委員としての役割



株式会社西日本シティ銀行人事部厚生グループ主任調査役  
亀川 聡

## ●地域の紹介

福岡県は、九州の玄関口、アジアとの交流窓口であり、学問の神様で有名な太宰府天満宮や、昨年は「令和」に元号が変わったことから、「令和」の引用元の万葉集の歌が詠まれたとされる大宰府政庁跡にある坂本八幡宮は今でも参拝者が多く、観光の名所のひとつに数えられるようになりまし。

また、福岡の中心地天神地区では規制緩和によって付加価値の高いビルへの建替えなど、新たなプロジェクト「天神ビッグバン」が推進され、さらにJR博多駅前再開発など、今後も都市再整備が進み、人・モノ・コトが交流する拠点として、さらに発展が期待されている県です。

## ●委員会活動について

私は今回2度目の「年金・健康保険委員活動報告」の投稿となりますので、今回は福岡県社会保険委員会連合会の会長職としての活動報告を主に報告させていただきますと思います。

福岡県は北九州地区に小倉北・小倉南・八幡の3年金事務所、筑豊地区に直方事務所、福岡地区には東福岡・博多・西福岡・中福岡・南福岡の5事務所、筑後地区には久留米・大

牟田に2事務所、計11の年金事務所があり、それぞれに社会保険(年金)委員会があります。

私は博多の社会保険委員会の会長を拝命してから7年、県の連合会の会長職は2期4年をまもなく終えようとしています。

前任の会長は直方の小野会長で、小野会長は常々、国の所管は変わっても年金と健康保険は車の両輪であり、連携は欠かせないとの信念を持ち、全国健康保険協会(協会けんぽ)福岡支部との協調関係を築かれまし

た。私はその後を引き継ぎ、協会けんぽ福岡支部と連合会の事務局である博多年金事務所と連携しながら、年金委員委嘱拡大にと、それぞれの加入事業所データとをマッチングさせ、健康保険委員、年金委員の委嘱拡大の手立てとした取組みを行い、一歩踏み出したところです。

## ●福岡県年金委員・健康保険委員功労者合同表彰式について

平成25(2013)年からつづく「福岡県年金委員・健康保険委員功労者合同表彰式」は、毎年11月に開催し、令和元(2019)年度は厚生労働大臣表彰3名、日本年金機構理事長表彰5名、全国健康保険協会理事



令和元年度 福岡県年金委員・健康保険委員功労者合同表彰式

令和元年度 福岡県年金委員・健康保険委員功労者合同表彰式

長表彰1名、日本年金機構理事表彰9名、全国健康保険協会支部長表彰22名、福岡県社会保険委員会連合会長感謝状21名の、計61名の方々表彰されました。

式では関係機関の方も含め、総勢90名近い方の出席を仰ぎ、毎回講師の方の記念講演、そして祝賀会を開催するなど、大いに盛り上がる式となっています。

永年にわたりそれぞれの委員として、日頃からの地道な仕事ぶりが認められ選ばれた賞であり、多くの方々の祝福を受けるこの式は、今後大切にしていきたいと思えます。

## ●地域年金事業運営調整会議について

この会議は、現在は年2回開催され、九州大学大学院法学研究院の丸

谷教授を座長に迎え、福岡県教育庁の高等学校関係者や福岡県年金協会連合会会長等、計11名のメンバーで構成され、①年金制度の正しい理解の普及、②若年層の国民年金保険料納付の推進等について、県内11年金事務所所長を交え、議論を行っています。

私も連合会の会長として出席し意見を述べさせていただいています。年金事務所の職員が行っている年金の周知、啓発の地道な活動に微力ながらお手伝いできればと思っております。

## ●九州ブロック社会保険委員会連合会等会長会議について

平成30(2018)年11月に、佐賀県を除く各県の委員会、連合会の会長、副会長12名、全国社会保険委員会連合会(全委連)の三枝常務理事(当時)を迎えて、博多年金事務所所長、副所長を加え、15名の出席者のもと、4年ぶりの開催となりました。

三枝常務理事のあいさつの後、各県の現状と課題について報告され、その後、年金委員の委嘱拡大について議論となりました。

会では私たち役員の高齢化しており、次の世代をどのように育成していくか考える時期になってい

るのではないかと、そして私たちの委員会活動を次の世代に残せるようしつかりとした組織づくりをしていかなければならないのではないかと、いう意見も出され、私たちが次の世代に伝えていくためにも、全委連に厚生労働省に対する協力連携を積極的にお願したいと要望を伝えることのできを終了しました。

## ●福岡県内

県内11支部の会長に集まってもらい、私が就業する西日本シティ銀行ココロ館で開催しました。

各支部の会長とは年2回の委員会連合会の理事会でお会いしますが、事務局からの議題(予算、決算)について協議をするだけで、各支部の情報交換ができていたため、初の会議となりました。

会では功労者合同表彰式だけでなく、支部独自で功労者を表彰して、連携がうまくいっている支部や、会費収入の減少で運営が厳しい支部など悩みも話されました。今回第1回目の会議でしたが、お互い情報の共有ができ、刺激にもなったのではないかと思います。

今後も情報共有しながら、支部では難しい事業も県全体で運営ができるような組織になったらよいのでは

ないかと、今回だけに終わらず継続して実施していければと思えます。

## ●おわりに

私たち年金委員は、業務の傍らですが事業所を代表してそれぞれ委員会活動に関わっています。

公的年金制度は「世代と世代の支えあい」といわれるように、広く世代や地域、職域を越えた社会連帯のもとに成り立っています。この制度を安定的に維持、運営していくためには、社会連帯の強化が不可欠であり、公的年金制度を正しく理解し、そして事業主、従業員とその家族に周知していく必要があります。

各委員会の運営自体は事務局が中



西日本シティ銀行ココロ館

心となって行っていますが、年金・健康保険委員の私たちは、年金事務所では表立っての委員会活動が難しい部分を少しでも補えるよう、今後微力ながら関心を持って活動していきたいと思えます。

(福岡県社会保険委員会連合会会長)